

# 住 民交流の拠点に 中山校区などコミセン着工



▲中山集会所・中山コミュニティセンターの起工式で刈初めの儀を行う金子市長

昨年の水害で被害を受けました。避難所としても活用していきます」とあいさつしました。

現在市は、大和・三橋地区で校区コミュニティセンターの整備を進めています。計画では来年度までに、コミュニティセンター10館を新設し、1館を改修完了する予定。今年度は中山校区をはじめ、六合、大和、矢ヶ部、二ツ河校区にそれぞれ新設、中島校区では大和漁村センターを改修します。これまでに6館すべての整備工事が始まりました。

柳川地区では、東宮永、両開、昭代、蒲池公民館の4館の改修を完了。残る城内、柳河、矢留公民館は現在改修工事中で、今年度内に校区公民館全7館の改修が終了する予定です。

コミュニティセンター整備についての問い合わせは、市生涯学習課施設係（☎ 77・8836）まで。



地元住民約40人が見守る中、新しいポンプによる排水が行われた  
筑紫ポンプ場が能力アップ  
市は、筑紫都市下水路ポンプ場のポンプ増設工事の完成報告会を開きました。排水ポンプの排水能力はこれまでの1.2トン／秒から2.4トン／秒になりました。また、機械の電力をも強いため災害に備えられたポンプの動力は、発電事業費は1億2800万円でした。

# 小 学生にタブレット ICTを活用した公開授業

豊原小学校（新谷裕幸校長）で9月27日、電子黒板やタブレット型パソコンなどICT（情報通信技術）を活用した公開授業研究会が行われました。

同校は昨年から、企業からタブレット型パソコン40台や電子教科書などを借りて、産学官連携によるICT活用推進実証研究を開始。今年度から3年間は市教育委員会の研究校指定を受け、78インチ型の電子黒板3台を購入。さまざまな場面でICTを活用した授業を行っています。

同研究会には、県内や広島、山口など県外の教職員や教育委員会などから約150人が参加。ICTを活用した、生活や道徳、算数、体育の公開授業の見学や、その後、体育館で行われた研究概要の説明や実践事例発表などに参加者は耳を傾け、熱心にメモをとったり質問したりしていました。

市教育委員会は、今年度ICT教育振興プロジェクト会議を立ち上げ、今後市立学校におけるICT教育の環境整備などについて、豊原小学校の実践成果を見ながら、検討していきます。



参加者はタブレット型パソコンや電子黒板を使った授業を見学

大和地区光通信サービス事業説明会	
● 会場	大和公民館2階第2研修室
● 内容	サービス概要、料金、申込方法などについて、NTT西日本が説明、個別相談
● 日時	10月26日（土）、27日（日）、1日2回（1時間程度）
● お問い合わせは、市企画課電算システム係（☎ 77・8426）まで。	市は、昨年度から大和地区を中心に市内全域の光通信網の整備を進めています。大和地区で光通信サービスの利用開始前に説明会を開催します。

# 柳 川を口ケ地にするため強力な助っ人 柳川の地域おこしの担い手に埼玉県在住の風間さんを委嘱

市は10月1日、地域おこし協力隊の隊員として、埼玉県在住の写真家、風間英人さん（50歳）を委嘱しました。

地域おこし協力隊は、東京や大阪、名古屋の3大都市圏や、福岡市、北九州市など政令指定都市で活躍する人に移住してもらい、外部からの視点で新たな取り組みを提案してもらいながら、地域活性化を担う総務省の制度です。

風間さんは、山梨県の県立高校を卒業後、これまで販売や営業などさまざまな職種と会社経営などを経験し、8年前から写真家として活躍。数々の写真展に入賞する腕前で、写真教室の講師も行っていました。最近では、自身の作品を電子書籍として配信するなど、活動の幅を広げています。

九州には雑誌の撮影で何度か足を運んだことがあるという風間さんですが、柳川を訪れるのは初めて。10月からは市観光課に所属して、映画やドラマ、コマーシャルなどの撮影隊の誘致や地域内の受け入れ態勢づくりなど、フィルムコミッション活動への支援を行います。また、魅力的な場所を撮影して情報発信することで、柳川の魅力を外部に紹介していきます。

委嘱式では、金子市長が「地域に積極的に入ってもらい、外部から見た視点で、地域資源の洗い出しや活用方法の提案をいただくなど、柳川を元気にするために協力をお願いします」と委嘱状を交付。風間さんは「九州の土地が好きなことと、フィルムコミッションの活動に引かれて応募しました。北九州市など九州のフィルムコミッションと連携しながら、ロケ地としての柳



委嘱状を手にした風間さん（左）と金子市長

川の魅力を紹介していきたい」と抱負を述べました。風間さんの委嘱期間は、来年の3月まで。成果により、最長3年間活動してもらうことができます。

なお、市では今回のフィルムコミッション活動の他、柳川ブランド認定品などの地場産品の営業や、マンガやアニメなどを活用した分かりやすい地域情報や行政情報の発信について、2名の地域おこし協力隊の募集も11月まで行っています。

地域おこし協力隊についての問い合わせは、市企画課企画係（☎ 77・8423）まで。

# 宝 くじの収益金は社会に還元されます

コミュニティ助成事業で柳川日吉太鼓の太鼓などを購入

おけどうしきめん あなたに夢を。宝くじ 英に元気を。  
これが難しい状況でした。今回の助成事業で3つの桶胴太鼓と2つの附絞太鼓などを新しくしました。



新調された3つの桶胴太鼓と2つの附絞太鼓